



発行日 平成 26年 12月 第82号

日頃、地域医療連携室にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。
 今年度のセミナーのテーマとして取り上げた「地域包括ケア病棟」は、平成26年の診療報酬改定を受けて新設された病棟であり、2025年に向けた地域医療を構築する上で、要となる事業です。

今回は、セミナーの概要と参加者を対象にしたアンケート結果についてご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

地域医療連携セミナー開催

- 日時：平成26年11月28日(金)18:30～19:45
- 場所：平鹿総合病院 講堂
- 目的：地域包括ケア病棟の主旨や運用方法について理解を深める。
- テーマ：「地域包括ケア病棟の運用の実際」
- 内容：地域包括ケア病棟の稼働の背景と概要の説明、病棟看護師長・理学療法士・ケースワーカーによる事例発表および質疑応答
- 参加者：133名
- 参加職種：医師・薬剤師・看護師・訪問看護師・保健師・ケアマネージャー・行政担当者等

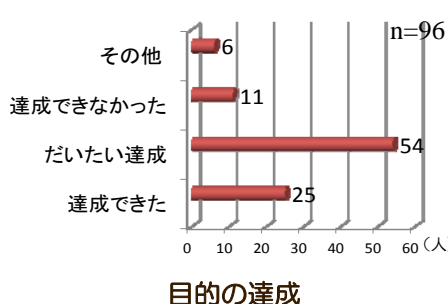
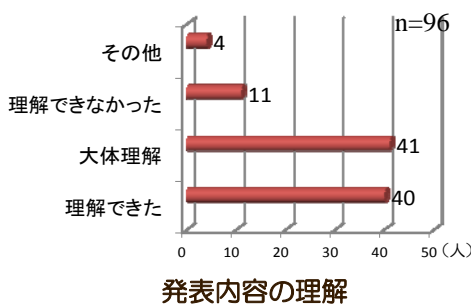
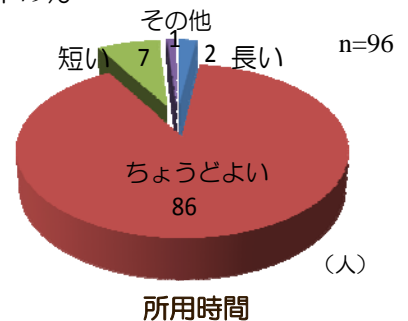
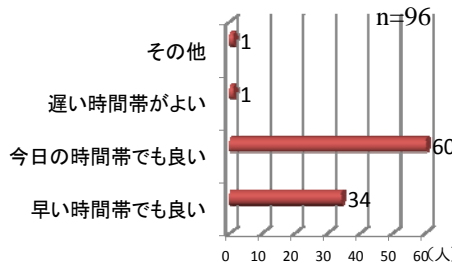
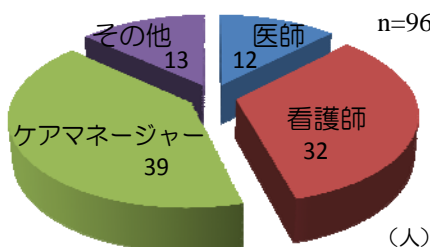


今回は、急性腎盂腎炎で入院された82歳の女性の事例を検討しました。急性期の治療に伴い、活動性が低下し、ご家族が施設入所をご希望された患者さんでしたが、地域包括ケア病棟へ移り、リハビリを継続したことにより、独歩にて、ご自宅への退院が可能となりました。

今回は、スムーズに経過した患者さんのケースでしたが、今後は困難事例についても検討する機会を設けていきたいと思っております。

セミナーに関するアンケート調査

回収率79%



- ご意見・ご感想(一部抜粋)**
- ・ケアマネからの意見をもっと聞くことができればよかった。
 - ・退院後の状況が知りたい。
 - ・今後、認知症患者さんの支援についてとりあげてほしい。
 - ・施設との連携を話題にしてほしい。